

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【公開番号】特開2008-229054(P2008-229054A)

【公開日】平成20年10月2日(2008.10.2)

【年通号数】公開・登録公報2008-039

【出願番号】特願2007-73677(P2007-73677)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 7

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域が形成され、該遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球が流下可能な遊技盤と、前記遊技領域へ遊技球を発射するための発射装置と、前記遊技領域へ遊技球を発射するための発射装置と、前記遊技領域に配設され、該遊技領域を特定入球口が設けられる第 1 の遊技領域とその他の第 2 の遊技領域とに区画形成する入賞装置と、前記第 2 の遊技領域に打ち込まれた遊技球の前記第 1 の遊技領域内への進入の確率が高くなるように動作可能な可動片と、該可動片を所定の動作態様で駆動制御する可動片制御手段と、前記第 2 の遊技領域に配設される始動口と、該始動口に遊技球が受け入れられたことを検出する始動口検出手段と、該始動口検出手段による検出に基づいて複数種類の当選種についての抽選処理を行う当選種抽選手段と、を備え、前記当選種抽選手段の抽選結果が特別遊技の実行契機となる当りであるとき、または、前記第 2 の遊技領域に打ち込まれた遊技球が前記可動片による動作を通じて前記第 1 の遊技領域内に進入し、該進入した遊技球が前記特定入球口に受け入れられたとき、遊技者に有利な特別遊技を行う遊技機であって、

前記始動口検出手段による検出に基づいて所定の表示部に表示される特別図柄を所定の時間だけ変動表示制御する変動表示制御手段と、

前記当選種抽選手段の抽選結果に基づいて前記特別図柄の変動表示停止時における表示態様を決定する停止時表示態様決定手段と、

前記特別遊技の遊技態様または / および前記補助遊技における前記可動片の動作態様が前記特別図柄の変動表示停止時における表示態様に関連付けされるかたちで複数種類記憶された遊技態様記憶手段と、

前記停止時表示態様決定手段により決定された前記特別図柄の変動表示停止時における表示態様に基づいて前記遊技態様記憶手段から前記特別遊技の遊技態様または / および前記補助遊技における前記可動片の動作態様を決定する遊技態様決定手段と、

前記当選種抽選手段の抽選結果が前記特別遊技の実行契機となる当りであるとき、前記特別遊技を行うにあたり、前記遊技態様決定手段により決定された特別遊技の遊技態様に制御する第 1 の特別遊技制御手段と、

前記当選種抽選手段の抽選結果が前記可動片の動作契機となる当りであるとき、前記可動片の動作を伴う補助遊技を行うにあたり、前記遊技態様決定手段により決定された可動

片の動作態様に制御する補助遊技制御手段と、

前記補助遊技において前記第１の遊技領域内に進入した遊技球が前記特定入球口に受け入れられることを条件に、前記特別遊技を行うにあたり、前記遊技態様決定手段により決定された特別遊技の遊技態様に制御する第２の特別遊技制御手段と、を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項２】

前記始動口への遊技球の入球率を可変とする入球率可変手段と、

前記特別遊技の終了後に当該遊技機の遊技状態を、前記入球率可変手段によって前記始動口への入球率が高められる高入球率状態に設定する高入球率状態設定手段と、をさらに備え、

前記遊技態様記憶手段には、前記特別遊技の終了後の前記高入球率状態の種別も前記特別図柄の変動表示停止時における表示態様に関連付けされるかたちで複数種類記憶されており、

前記遊技態様決定手段は、前記停止時表示態様決定手段により決定された前記特別図柄の変動表示停止時における表示態様に基づいて、前記高入球率状態設定手段により設定される前記高入球率状態の種別を前記遊技態様記憶手段から決定することを特徴とする請求項１記載の遊技機。

【請求項３】

前記補助遊技決定手段に決定された前記可動片の動作態様が前記第１の遊技領域内に遊技球の進入する割合の高い動作態様であるほど、該進入した遊技球が前記特定入球口に受け入れられる割合が高いことを特徴とする請求項１または請求項２に記載の遊技機。